



「Catch Ball キャッチボール」～地域に開かれた農場を目指して～

住 所：〒014-0054 大仙市大曲金谷町 26 - 9

電話番号：0187-63-2257・Fax 0187-62-3434(大嶋農場: Fax 兼用 0187-68-2381)

U R L：<http://www.daino-h.akita-pref.ed.jp>

* 農場便りに関するお問い合わせ農場経営部までご連絡下さい。

金谷農場

農場長より(高橋寿徳)

長かった冬も終わり、残雪もほとんど見られなくなりました。いよいよ平成23年度の大農農場にも鍬がおろされました。昨年度は春先の低温につづき夏は酷暑と気候に悩まされました。しかし、農作物にも大農生の思いと頑張りも伝わり、立派な作物が育ちました。今年の生徒も負けません！農作物、家畜への熱い、厚い思いで立派な農産物を地域の皆様にお届けします。乞うご期待を・・・。

今年も栽培や生産を通して生き物から多くの事を学びます

施設野菜部門より(平塚・高橋恵)

増田高校から高橋恵二先生を迎え、リニューアルオープンした施設野菜部門です。今年もよろしくお願ひします。さて、温室内はやっと生育温度が安定してきました。春先に悪さをしたいはずらネズミを捕獲したキュウリハウスではキュウリが毎朝花を咲かせ、今年の第一号となる実をつけ始めています。

トマトは播種をした日に地震が発生...温室内の暖房が止まってしまうトラブルに見舞われました。挽回しようと一生懸命頑張っていますが・・・

今年はまだなかなかトラブル続きでスタートダッシュに出遅れましたが、美味しい野菜を届けられるよう頑張ります。

露地野菜部門より(佐藤文・佐々木鶴)

新しく鶴善先生を迎え、新体制でのスタートとなりました。

なかなか暖かくならず、例年よりも半月ほど遅くトマト・ナスの種まきを行いました。そうしている内に、キャベツ、ブロッコリーもまかなくてはならなくなってきて、全体的に仕事が集中してきて...。ゴールデンウィーク前までに、たい肥の運搬・散布を終わらせたいと思っているのですが...天候不順に加え、気温が上がらず、本当に今年は参っています。ですががんばりたいと思います。

果樹部門より(藤井・工藤)

今年度も引き続き、工藤・藤井の2名で担当します。よろしくお願ひいたします。

4月まで雪が多く残り、最初の薬剤散布ができるかどうか心配していましたが、何とか間に合いました。ただし、剪定枝の片付けは、積雪のため枝を捨てる場所まで辿り着けず進んでいません。雪が無くなり次第、急ピッチで進めたいと思います。

果樹の生育は芽出し(発芽)時点で平年より一週間程度の遅れとなっています。開花も遅れるかと思いますが、それまでには寒暖の差も少なくなって欲しいものです。

草花部門より(小松・山代)

現在、花壇用草花苗の栽培に大忙しの毎日です。種まきから、鉢上げ、鉢の移動、管理と、毎日生徒のみなさんの実習で頑張ってもらっています。みなさんの注文も受け付けていますのでお早めどうぞ。下に花苗の種類、色、値段を書いておきます。なお、お渡しは5月下旬ころになります。

マリーゴールド(オレンジ)(黄)	50円
サルビア(赤)(ブルー)	50円
ペゴニア(赤)(ピンク)(白)	60円
トレニア(赤)(青)	60円
インパチェンス(混合)	60円
ニチニチソウ(混合)	60円

食品加工部門より(伊藤寿・瀬田川)

平成23年度も食品加工部門よろしくお願ひいたします。

生徒が実習で作った大農伝統のぶどう液「キャンベル」やリンゴジャム・ブドウジャム・ブルーベリージャムを販売しております。

現在、本校のお米、美郷町の大豆で熟成させた「大農味噌」の仕込みを行っています。

生物工学部門より(坂本寿・大沼・齊藤・佐藤潤)

震災による燃料不足の影響は多少ありましたが、どうにか切り抜けて春を迎えることができました。その中で今年度はデンドロビウム・キングアナム系がたくさんの花を咲かせています。このランは「香りのラン」とも言われ親しまれています。担い手育成事業で研修させていただいた愛知県のラン農家「東伸」さんの株が数種類ありますので、これから交配に取り組みます。

今年度は学科スタッフが2人変わりました。田口健先生は農業科学科小家畜部門、実習担当の山代先生は花卉部門の担当となり、新たに博士号教員の大沼先生と本校生物工学科OB佐藤潤之介先生を迎えました。今年度もよろしくお願ひします。

大嶋農場

大家畜部門より(芳賀、佐々木一)

今年度は、富樫先生、田口健先生、佐々木一先生を畜産部門に迎え、活動することになりました。年度末から大家畜では、仔牛の死が続き、なんとなく元気がない感じでしたが、新しい先生方の新風を追い風に、心新たに頑張らなければ！という気持ちになっています。

今はまだ、雪害の片付けに追われていますが、今年度は牛舎西側の土地を採草地に向けて整備したり、牛舎の景観美化にも取り組んで行きたいと思っています。

3月6日生まれの「大農松」号は、順調に大きく育っています。牛舎に来た際は、絶対に大声を出したりして驚かせないで下さい。

今年も1年間よろしくお願ひします。

中家畜部門より(堀部、小林)

4月10日に6匹の子豚が産まれました。今回分娩した母豚は高齢のため4月26日に11月17日生まれの5匹と一緒に出荷することになりました。6年間ごころうさまでした。

1月7日生まれの8匹は順調に成育中です。うち2匹は今年の早苗振で皆さんに試食していただきますので楽しみにしてして下さい。

小家畜部門より(田口健一、富樫)

4月8日は地震の影響で大嶋農場が停電し、餌やり、水やりを手作業で行いました。

現在、餌も届き順調に作業を行っています。

作物部門より(高橋寿・佐々木周、黒田)

4月18日現在、育苗ハウスの整理を行っています。ビニールを張り、プール育苗用にハウス内の地面を整地しています。田んぼは雪も消え、耕うんできるようになってきました。まもなく、播種の時期となります。